

# 吟

# 稲吟OB会会報

No. 31

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>  
稲吟OB会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>

発行：2009（平成21）年10月10日 発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局  
編集発行責任者：大竹 茂行（稲吟OB会） 通巻第31号「稲吟OB会NEWS」改題

■目次■ 会長挨拶 …1 / 副会長寄稿…1,2 / 幹事長合宿報告…2,3 /  
News Flash…3 / 事務局から…4

## 今こそ稲吟会を守り立てよう

稲吟OB会会長 大竹茂行（平3）

東京はキンモクセイの香りが漂い、秋の訪れを感じるようになりました。未だ残暑の続くところ、既に冬の到来を迎えたところもあると存じますが、皆様にはお変わりありませんでしょうか。平素のご無沙汰をお詫びしつつ、皆様のご自愛の上のご健勝・ご活躍を心からご祈念申し上げます。

さて、菅原副会長の寄稿にもありますように、稲吟会は新たな挑戦の時期を迎えています。幹事長の交代、中軸となる2・3年生の退会により、現在は2年生の加賀美慧幹事長の下、今月24日に迫った発表会に向けて準備を進めています。

稲吟会にとって何よりも大きな支援は、この発表会にOB・OGが多数駆けつけ、大きな声援を送ることです。ご多忙とは存じますが、10月の発表会へのご参集を賜りたく、切にお願い申し上げます。

55周年記念大会もいよいよあと1年となりました。記念大会もまた、稲吟会の諸君にとって大きな励みになるものと思います。我々執行部も、11月のOB会総会で概要をご報告できるよう、目下準備を進めております。学生・OBそれぞれにとって充実した記念大会にするために、皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大竹茂行稲吟OB会会長

## 稲吟会幹事長に加賀美慧君が就任、一層の支援を！

稲吟OB会副会長 菅原 均（平4）

既に御存知の方もいらっしゃると思いますが、54代執行部幹事長が2年生の加賀美慧君に代わっております。7月頃、各自諸事情により幹事長を含む3・2年生の多くが退会し、現在、3年生3人、2年生2



菅原均OB会副会長

人、1年生3人となり、4年生を含め14人となりました。大量の退会にあたり、OB会執行部の1人として、何ら関与できなかつたことを心よりお詫び申し上げます。

53代執行部幹事長であった根間君より現役の状況を聞いた際には、大きな不安を感じました。しかし、2年生で唯一稲吟会に残り、幹事長となつたのが加賀美君であることを知り、希望の光が射し込んだ気がしました。彼と話したことのある方であれば御理解戴けるとは思いますが、素直で強い眼差しを持ち、年下でありながら大きな包容力を感じる人物です。先日、急遽幹事長として迎えることになった夏合宿後の加賀美君と話す機会を持ちました。彼は1から3年までが結束して合宿に臨むことができたこと、4年生たちも合宿の開始から参加し積極的にサポートしてくれたこと、人数が少ないことを前向きに捉えるよう大川先生が指導して下さつたことなど、多くの思い出を話してくれました。

私が入会したS63年春、稲吟会は40人を超える大所帯となっております。しかし、わずか1年前の32代執行部の春合宿（S62年）が4人で行われことを、いつも先輩方から伺つておりました。そうしたお話の中から、大人数の中にあつても1人1人を見つめ、心に接していく大切さを学びました。

また、OB会の先輩方の有形無形の手厚い支援のことについても、先輩方からのお話の中でしばしば伺いました。1万人の新入生に1枚ずつ、ということで1万枚の勧誘チラシを用意していただいた話、OBになつても忙しい中を部室に立ち寄り声をかけて下さつた方々の話、上京の際のわずかな時間を割いて部室にいらしていただいた話……私が入会して、35代の幹事長として記念大会を迎えた時にも、変わらぬ支援を賜りました。加賀美君との話の中で、そんなことを思い出しておりました。

現役時代が良かったかどうかは、人数が多いかどうかではないことは、皆様方御存知の通りです。どのような人数でも、稲吟会においては会員それぞれの心の触れ合いが最も大切なことです。しかしながら、突如として少人数となり、それを背負う後輩たちには、我々OB会の支援・声援が大切と存じます。

既に、案内状が送られておりますが、来る10月24日（土）葛西区民館 4階ホールにて稲吟会学内吟詠発表大会が開催されます。現体制が出来てわずか3カ月の大会ですが、その間の現役諸君の頑張りをは是非見届け、激励にいらして下さい。是非とも、一人でも多くの御参加宜しくお願い申し上げます。

## 互いの結束を強めた夏合宿

稲吟会幹事長 加賀美慧（政経2）

今年の夏合宿は9月1日から6日にかけて長野県飯山市の松月荘で行いました。近年、関東近郊での開催が続いておりましたが、今回は甲信越地方のためバスでの移動に時間がかかり、到着は昼過ぎになりました。宿のある長野県飯山市は自然の豊かなところで、バスから降りた瞬間に空気の清々しいことを感じることができ、このような恵まれた環境の中で吟じられることに胸が高鳴りました。松月荘は24時間使用可能のホールに、温泉を備えていました。（それに何ととっても安かつたのです！）宿の方々に挨拶をすると、早速結団式を行い6日間の合宿への気合を入れました。

ちなみに今回の合宿の参加者は、菅谷冴織、柴原強（以上3年）、加賀美慧（2年）、愛甲麻友、加藤白峰（以上1年）と、4年生の金田和歌奈先輩、中川正章先輩、根間博之先輩、佐藤智美先輩、笛木麻佑子先輩でした。また、結団式を終えるとすぐ個人練習が始まります。今回の合宿メニューは、例年

通り午前午後に吟練習、夜に舞練習です。吟練習、舞練習ともに先輩方の指導のもと、充実した練習を行うことができました。今合宿の吟題は以下の通りです。

1年生：赤間が関、結婚式、涼秋詞、書懷、淡路島、天草洋に泊す

2年生：九月十三夜能州陣中の作、青葉の笛、九月十日、東海の、蒙古来

練習後、夕食までに入浴をしました。風呂の湯は温泉のため、皆のぼせるほど入ってしまいました。

大川先生がいらっしゃったのは2日目のお昼からでした。午後の師範練習では、改めて理想的な呼吸法、発声法を習い、また新しい吟題の節調を学びました。個人練習では先生と一対一で密に行いました。1年生のなかには、大川先生と初対面の会員もおり、彼らは初めて聞く先生の吟詠に驚いておりました。4日目の昼、最後の先生練習のあと先生はお帰りになる前に我々を近辺の名勝地に連れてって下さいました。ブナの原生林で賑わうなべくら高原に、それに囲まれた茶屋池は壮観でした。その日の午後は、オフに時間を割り野外でバーベキューを和気藹々と楽しみました。

最終日の午後、納会がはじまります。独吟、合吟、講評、そして校歌斉唱の後、宿の方に御礼を申し上げると、一年生への吟バッヂの授与式をしました。やがて夜になり、打ち上げでは先輩方と深夜までさまざまなことを話しました。

起床時間。宿の方々にお礼を申し上げ、帰路につき新宿駅に到着しました。駅頭で一本締をし、5泊6日にわたる合宿に幕が下りました。合宿を経て吟・舞の技術向上ばかりではなく、会員同士のつながりが一層強くなったと感じています。

OB・OGの諸先輩方には大変なご心配をおかけしておりますが、合宿を通じて私達の結束はこれまで以上に強くなりました。発表会で私達の力をお見せするべく、会員一丸となって練習を続けております。ぜひ、発表会に足をお運びください。そして、私達の詩吟を聞いてくださることを、心よりお願い申し上げます。

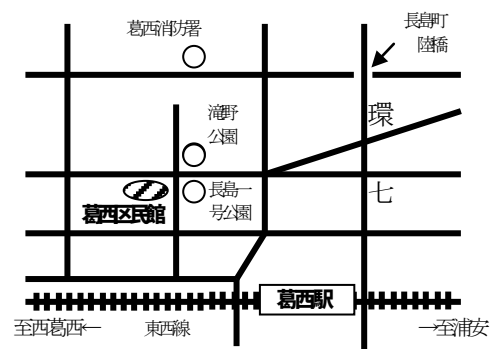
◆◆ News Flash ◆◆



## 稲吟会発表会は10月24日に葛西区民館で開催

今年度の稲吟会の発表会は10月24日(土)に葛西区民館(東京メトロ東西線「葛西駅」下車 徒歩5分、tel: 03-3688-0435)4階ホールにて開催されます。一昨年の大会と同じ会場です。開場は13:30、14:00開演です。時間・内容等の最新情報は、稲吟OB会のページ(<http://www.togin.org/alumni/>)にも掲載されています。ぜひ、会場に熱い応援の声を届けましょう。

なお、コンパ会場も決まっています。1次会が「傳王(旧半蔵)」(早稲田通り 荒井ビル3階, tel: 03-6380-2139)で18:30から、2次会は「弁慶」(高田馬場駅そば 吾妻ビル2階, tel: 03-3371-8825)にて21:00からです。コンパからでも、ご参集ください。



## OB会総会は11月に開催予定

例年、稲吟会の発表会と日程をそろえて開催してきたOB会総会ですが、今回は発表会が葛西で開催されるため、日程を分け11月に開催することになりました。今回の総会ではいよいよ来年に迫った55周年記念大会に向けてのOB会側の組織作りなども議題に上ります。発表会とあわせ、こちらもぜひご参加ください。日程・場所など決まり次第、はがき・稲吟OB会のページにてご案内いたします。

◆◆ 事務局から ◆◆

## 会員近況情報

■ OB会員名簿正誤 お手元の名簿（2007年度版）について、以下の8件を追加・修正ください。

名簿の内容について変更などありましたら、meibo@togin.orgまでお知らせください。

## 年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には、年会費（5,000円）の納入をお願いしております。ご協力誠にありがとうございます。なお、まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。なお、2年以上ご入金の確認が出来ない場合、名簿・会報の郵送サービスが停止されます。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟OB会事務局会計幹事に電子メール(kaikei@togin.org)もしくは往復はがきにてお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、お送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740  
《他の金融機関からの振込の場合…》  
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）、店番 019、  
店名 〇一九（ゼロイチキコウ）店、預金種別 当座、  
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギンOBカイ  
年会費 5,000円

恐れ入りますが振替／振込手数料はご負担ください。振替の場合、2年分（10,000円）以下ならば1070円です。なお、平成22年9月30日までは、ゆうちょ銀行間口座間の送金にATMを利用すると、手数料がかかりません。また、ゆうちょダイレクトでも月に5回までは手数料無料です。

～ 担当者から ～

今回は諸般の事情で、大会直前に会報をお送りすることになりました。幹事長交代、2・3年生の退部と、稲吟会は多難な局面を迎えています。こんなときこそ、私たちOB・OGが彼らを支えていかなければと思います。（た）